

# 世界的劇作家 チェーホフの 桜の園 をオンラインで 演出家と一緒に 読んでみよう

第七劇場「桜の園」ツアー2021  
金沢公演 関連企画 読書会

[日時] 2021年10月13日(水) 18:30～20:30

[会場] ZOOMを使用したオンライン読書会

[ナビゲーター] 鳴海康平(第七劇場 演出家)

[参加費] 無料

[対象] 高校生以上の方

[定員] 20名(事前申し込み制, 先着順)

[お申し込み]

申し込みフォームから、お名前(ふりがな)、所属、メールアドレスを明記の上、10月10日(日)までに、お申し込みください。

[お問い合わせ] 金沢大学附属図書館中央図書館係  
mail. etsuran@adm.kanazawa-u.ac.jp

※使用するテキストは画面上で共有表示します

※安定したインターネット回線での参加を推奨

※イベント当日にメールにてZOOMのURLをお知らせします

▶ 図書館では「桜の園」をテーマに  
ミニ展示を実施(10/1～10/14)

金沢大学附属図書館  
イベントページ

読書会  
申し込みフォーム

桜の園  
特設サイト



現実って何? あなたは何が現実か見えているようだけど、私、目が悪くて何も見えないの。あなたは前しか見えていないのかもしれない。それはあなたの目にはまだ人生というものが見えていないだけじゃない?

2021年10月16・17日の「桜の園」金沢公演の直前、オンラインでの読書会を実施します。実際に上演される台本を読んでみませんか?

ナビゲーターは、第七劇場の演出家・鳴海康平。

ロシアの作家チェーホフが書いてから約120年経つ現在も、世界中で上演され続ける名作に触れて、小説とは少し違う戯曲の世界や、人間という小さな存在を愛し続けた作家チェーホフに思いを巡らせてみませんか?

ナビゲーター: 鳴海 康平

第七劇場、代表・演出家。Théâtre de Belleville、芸術監督。1979年北海道紋別市生まれ。三重県津市在住。早稲田大学在籍中の1999年に劇団を設立。これまで国内25都市、海外11都市(フランス、ドイツ、ポーランド、韓国、台湾)で作品を上演。ポーラ美術振興財団在外研修員(フランス・2012)として1年間渡仏し活動。帰国後2013年に日仏協働作品『三人姉妹』を新国立劇場にて上演。愛知県芸術劇場主催AAF戯曲賞審査員(2015～)、名古屋芸術大学准教授(2021～)。

第七劇場「桜の園」ツアー2021  
金沢公演 関連企画

主催: 金沢大学附属図書館  
共催: 合同会社第七劇場、金沢芸術創造財団

